

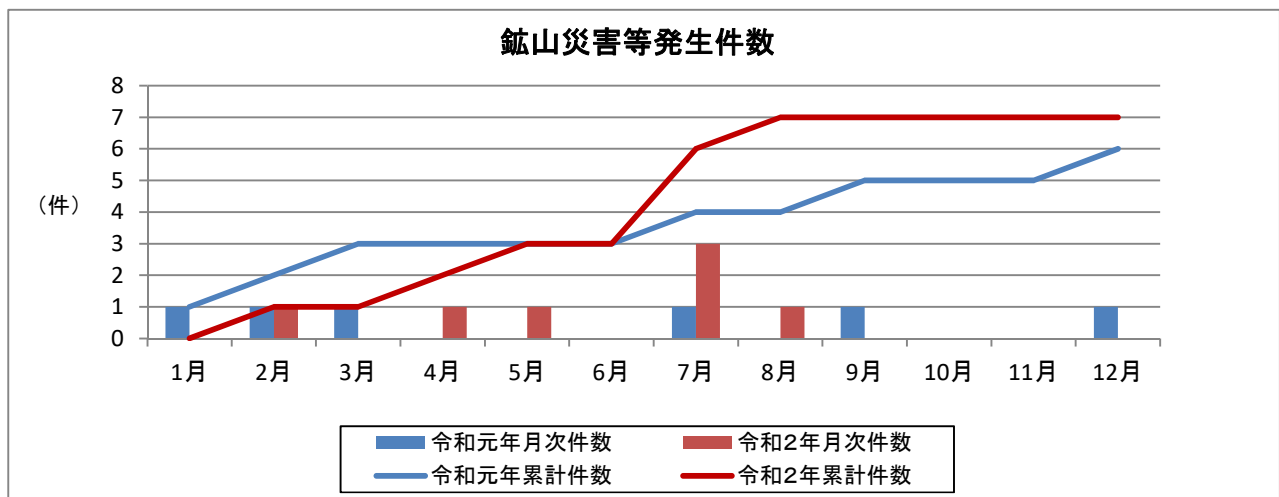
【令和2年】

■管内における事故発生状況(12月速報値)

※数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。

○鉱山保安法関連(災害等)

災害等の種類	令和2年12月分				前月件数	前年同月件数	令和2年累計				令和元年累計			
	件数	死傷者数					件数	死	重	軽	件数	死傷者数		
		死	重	軽								死	重	軽
火災							3		1		1			
取扱中の器材鉱物等のため											1			1
運搬装置のため(車両系鉱山機械又は自動車のため)														
運搬装置のため(その他)											1			1
墜落							1		1					
転倒						1					1			1
灼熱溶融物のため														
落下物又は倒壊物											1			
その他							3				1			
合計	0	0	0	0	0	1	7	0	2	0	6	0	1	2

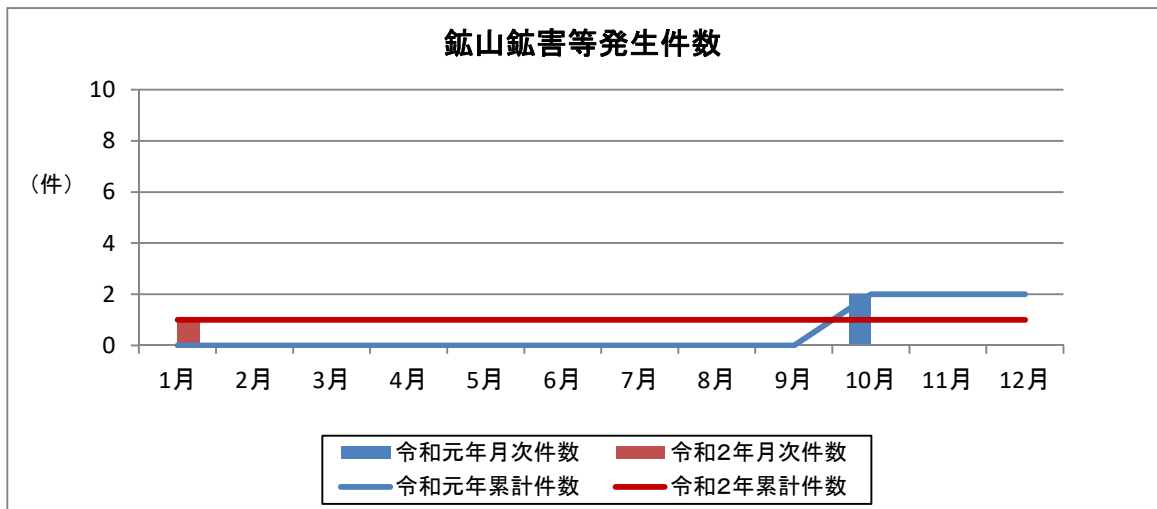


- ①【発生年月日】 令和2年2月21日
 【場所(県名)】 青森県
 【事業者区分】 石灰石鉱山
 【災害の種類】 火災
 【災害の概要】 採掘切羽で穿孔作業中、穿孔機のコンプレッサーオイルが漏れ、漏れた油がエンジン高温部に接触したことにより出火した。人的被害及び操業への影響なし。
 【被災の状況】 罹災者なし
- ②【発生年月日】 令和2年4月9日
 【場所(県名)】 岩手県
 【事業者区分】 石灰石鉱山
 【災害の種類】 火災
 【災害の概要】 採掘切羽で鉱石の掻き出し作業を行っていた大型油圧ショベルの運転席のコンソールボックスから出火した。人的被害及び操業への影響なし。
 【被災の状況】 罹災者なし

- ③【発生年月日】 令和2年5月18日
【場所(県名)】 青森県
【事業者区分】 石灰石鉱山
【災害の種類】 発破火薬類
【災害の概要】 露天採掘場にて発破を行ったところ飛石が発生し、約290m離れた重機場に駐車していた重機のラジエータに当たり、損傷した。なお、敷地外への飛石は確認されていない。
【被災の状況】 罹災者なし
- ④【発生年月日】 令和2年7月14日
【場所(県名)】 岩手県
【事業者区分】 石灰石鉱山
【災害の種類】 発破火薬類
【災害の概要】 露天採掘場にて発破を行ったところ飛石が発生し、隣地(他社)の駐車場の車両12台、民家の屋根破損(1棟)、民家の土塀破損(1件)があった他、道路、田畑に飛石が確認された。なお、人的な被害は発生していない。
【被災の状況】 罹災者なし
- ⑤【発生年月日】 令和2年7月20日
【場所(県名)】 福島県
【事業者区分】 石灰石鉱山
【災害の種類】 火災
【災害の概要】 罹災者は堆積場内でダンプトラックを発進させたところ、近くのブルドーザー作業員からダンプトラックのエンジン周辺部から出火しているとの無線連絡があり、エンジンを停止してキャビンから退避する際に慌てて、バンパー(地面からの高さ0.95m)から体を反転させながら飛び降り、着地の際に足を捻って罹災した。火災についてはブルドーザー作業員が消火器を用いて消火した。
【被災の状況】 右脛骨遠位端骨折、右腓骨近位端骨折(全治2ヶ月)
- ⑥【発生年月日】 令和2年7月29日
【場所(県名)】 山形県
【事業者区分】 けい石鉱山
【災害の種類】 風水雪害
【災害の概要】 7/28からの大雨で、選鉱場及び鉱山事務所が浸水した。選鉱場の設備は、コンプレッサー、パレット積ロボット、モーター等が泥を被った。その後、順次、復旧作業を行い、8月19日に通常操業に戻った。
【被災の状況】 罹災者なし
- ⑦【発生年月日】 令和2年8月5日
【場所(県名)】 岩手県
【事業者区分】 石灰石鉱山
【災害の種類】 墜落
【災害の概要】 作業監督者が砕鉱場の電気工作物の月次点検作業中、設備の設置状況を確認しようと作業通路を歩いていたところ、開口部に気づかず、4.2m下の基礎コンクリートへ墜落し、罹災した。
【被災の状況】 背骨圧迫骨折2箇所、尾骶骨骨折1箇所(全治3ヶ月)

○鉱山保安法関連(鉱害等)

鉱害等の種類	令和2年12月分	前月件数	前年同月 件数	令和2年累計	令和元年累計
坑廃水	0	0	0	1	0
鉱煙	0	0	0	0	0
粉じん	0	0	0	0	0
集積場	0	0	0	0	0
騒音・振動	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
小計	0	0	0	1	0
その他自然災害に伴う鉱害	0	0	0	0	2
合計	0	0	0	1	2



【発生年月日】令和2年1月30日

【場所(件名)】青森県

【事業者区分】金属鉱山(休止鉱山)

【災害の種類】排水基準超過

【災害の概要】坑廃水処理施設の石灰ミルク供給装置に石灰塊が付着し、十分に石灰ミルクが供給されなかったため、排水基準を超過する(pHのみ)廃水が河川に流出した。